



図書館だより

新潟市立東新潟中学校 2025年2月20日 No.9



3年生の皆さん ありがとう



東風祭や東華祭、東新パワーフェスタなどで3年生の皆さんが、学校の中心になってがんばる姿は本当に素晴らしかったです。すてきな毎日をありがとう。

さあ、もうすぐ新しい世界への旅立ちです。多くの出会い、様々な冒険、わくわくする毎日が待っていると思います。東新潟中学校でがんばったことを自信に大きくはばたいてください。卒業、おめでとう！

387ページ〜
388ページより引用
斎藤惇夫／作 数内正幸／画
『冒険者たちーガンバと15ひきの仲間』(岩波書店)

さあゆこう仲間たちよ
ふりそそぐ日の光を背に
若草もえる岸辺のはてへ
聞こえるだろう ほら
川面をわたる風の中に
はるかところく潮鳴りが

さあゆこう仲間たちよ
うすまきさかまく大海原を
残照輝く水平線のかなたへ
聞こえるだろう ほら
あれくるう風の中に
自由と愛のほめ歌が

さあゆこう仲間たちよ
住みなれたこの地をあとに
曙光さす地平線のかなたへ
聞こえるだろう ほら
梢をゆるする風の中に
流れくだる河の歌声が

われら草の根をまへうらに
旅を住処とし
久遠の郷愁を追いゆくもの



今年度の貸出のようす

(4月5日~2月19日)

☆ 貸出冊数	1年生	2563冊	(一人平均 16.8冊)
	2年生	1269冊	(// 8.0冊)
	3年生	994冊	(// 5.6冊)
	全校	4826冊	(// 9.9冊)

☆ 予約件数 209件 ☆ リクエスト件数 59件

☆ 昨年より貸出冊数の全校平均が4.2冊増えました。予約件数も3倍以上になっています。本に親しむ人が増えていて嬉しく思います。これからもたくさん本を読んでください。



これからの予定



	最終貸出日	最終返却日
3年生	2月21日(金)	2月28日(金)
1・2年生	3月5日(水)	3月14日(金)

☆ 3月18日(火)まで開館しています。春休み中の開館日はありません。

☆ 本の予約は来年度に引き継ぎます。予約をしたのに本が届かなかった人、ごめんなさい。次の学年で借りられるのを楽しみにしててください。





新しく入った本



分類	書名	著者名	出版社
361 ブ	『勘違いが人を動かす 教養としての行動経済学入門』 エヴァ・ファン・デン・ブルック & ティム・デン・ハイヤー / 著	(ダイヤモンド社)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 校長先生が全校朝会で紹介してくださった本です。 </div>			
366 オ	『おしごと年鑑 2024』	(朝日新聞社・朝日学生新聞社)	
376 コ	『高校入試 一問一答をひとつひとつわかりやすく。』 ・5科 ・理科 ・社会	(Gakken)	
407 ウ	『ピーカーくんとすごい仲間たち』 うえたに夫婦 / 著	(誠文堂新光社)	
407 ウ	『ピーカーくんがゆく! 工場・博物館・実験施設』 うえたに夫婦 / 著	(誠文堂新光社)	
596 ニ	『笑顔あふれる にいがた給食レシピ』 新潟県学校栄養士協議会 / 著	(新潟日報メディアネット)	



『魔女の宅急便』は出版 40 周年！
その記念として 1 巻目のカバーは『SPY×FAMILY』
の作者、遠藤達哉さんのイラストになっています。

- 913 カ 『魔女の宅急便 1・2』 角野栄子 / 著 (福音館書店)
- 913 キ 『二人一組になってください』 木爾チレン / 著 (双葉社)
- 913 ミ 『アオのハコ Prologue』 三浦糰 / 原作 七緒 / 小説 (集英社)
- B913 チ 『天久鷹央の推理カルテ 呪いのシンプトム』
知念実希人 / 著 (実業之日本社)
- B913 ヨ 『冬期限定ボンボンショコラ事件』 米澤穂信 / 著 (東京創元社)
- B913 ヨ 『巴里マカロンの謎』 米澤穂信 / 著 (東京創元社)
- B916 キ 『アトム的心臓 「ディアファミリー」23 年間の記録』
清武英利 / 著 (文藝春秋)



おすすめの本



『夜と跳ぶ』 額賀濤 / 著 PHP 研究所 (913 ヌ)

スポーツカメラマンの与野丈太郎が、夜の渋谷で出会った少年。彼は、スケートボードの消えた金メダリスト、大和エイジでした。エイジの圧倒的なトリックに魅せられ、彼の滑りを撮影する丈太郎。その中で、なぜエイジが次の五輪を目指さなかったかが明らかになっていきます。

~新しい本から~



『透明なルール』 佐藤いつ子 / 著 KADOKAWA (913 サ)

著作権保護のためホームページには表紙画像を掲載できません。

中学 2 年生の佐々木優希は、新しいクラスで人気グループに入ることができたのですが、無理をして毎日を過ごしています。しかし、二人の同級生との出会いを通じて、「透明なルール」の存在に気づいた優希。それは、周りからどう思われるかを気にするあまり自分自身を縛り付けるものでした。彼女は、そこから抜け出すために葛藤し、成長していきます。